



西口 明日香 さん

理学科 数学コース[4年]
大阪府・樟蔭高校出身

西口さんの時間割(1年前期)

時限	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					生涯スポーツ2
2			英語演習1	数学講究(1)	英語演習1
3	オーラル イングリッシュ2	教職入門	暮らしのなかの憲法	微分積分学I	韓国語総合1
4		微分積分学II		線形代数学II	線形代数学I
5	基礎生物学	自校学習			基礎ゼミ1

【西口さんの卒業研究テーマ】グラフ理論とフレームワークの幾何の研究

01 理学科 数学コース

数学 —時代にとらわれない普遍的な学問—

古代ギリシャに端を発し、現代も発展を続ける数学。代数学・幾何学・解析学という純粋数学は、あらゆる科学技術の基礎として、またグラフ理論や暗号理論などの数学は、ネットワークが高度に発達した社会において、その実用的な運用や発展のために不可欠な存在です。当コースは、数学を専門に学べる高等教育機関として理工学部開設当時から70年近くの歴史と実績を有しています。各方面にわたる数学研究の第一線で活躍している教員が、最新の研究成果に基づき充実した教育を提供します。

数学に夢を持ち、 自らの力を信じて挑戦する人間の育成

当コースでは、数学を通して論理的思考力や総合的判断力、問題解決能力を身につけ、人生を自ら切り開くことのできる学生を育てます。そのため、教員から直接指導を受けられる少人数制のゼミや対話形式の講義、プレゼンテーションの機会を豊富に用意しています。こうして、従来の一方向の講義では困難な、学生の理解度に合わせた指導を実現します。3年次の「数学講究」(教員志望クラス)では、3年生が1年生の演習を補佐することで、教育実習を想定した実践経験を積み機会も提供します。

目標とする 資格・検定

- 所定の単位修得で取得できる資格
- 高等学校教諭一種免許状(数学／理科／情報)
 - 中学校教諭一種免許状(数学／理科)
 - 図書館司書
- 理工学部共通
- ITパスポート
 - 基本情報技術者

カリキュラム

※カリキュラムは2020年度のもので、2021年度は変更になる場合があります。 ※[]内の数字は単位数

純粋数学から応用数学まで、対話型講義で学びます

専門科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
必修科目	数学講究(1)[2] PICK UP! 1 数学講究(2)[2] 線形数学(1)[4] 基礎解析学(1)[4]	数学講究(3)[2] 数学講究(4)[2] 数学講究(5)[2] 数学講究(6)[2]	数学講究(7)[2] PICK UP! 3 数学講究(8)[2]	卒業研究[8]	
				現代数学(1)[2] 現代数学(2)[2] 現代数学(3)[2] 現代数学(4)[2] 現代数学(5)[2] 応用数学(1)[2] PICK UP! 6 応用数学(2)[2]	
選択必修科目					
	基礎幾何学[2]	線形数学(2)[2] 基礎解析学(2)[2] 群論(1)[2] PICK UP! 2 群論(2)[2] 集合と位相(1)[2] 集合と位相(2)[2] 微分方程式論(1)[2] 微分方程式論(2)[2] 計算機実習(1)[2]	複素解析学(1)[2] 数科教育演習[2] 地学概論I[2] 地学概論II[2] 地学実験[2] データ構造とアルゴリズムI[2] データ構造とアルゴリズムII[2] 言語理論とオートマトン[2] オペレーティングシステム[2]	複素解析学(2)[4] 代数学(1)[4] 代数学(2)[4] 幾何学(1)[4] PICK UP! 4 幾何学(2)[4] 実解析学(1)[4] PICK UP! 5 実解析学(2)[4] 数理解論統計(1)[2] 数理解論統計(2)[2]	計算機実習(2)[1] 実験数理解析[1] 情報理論[2] 通信方式[2] データベース論I[2] 画像処理[2] ネットワーク工学[2] コンピュータグラフィックス[2]
選択科目					

PICK UP! 1

数学講究(1)

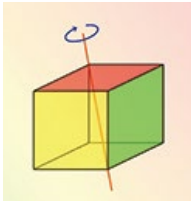
補足講義を受けながら、微分積分学と線形代数学の演習問題に取り組みます。計算や証明の基本的な技術を身につけ理論の理解を深めるとともに、別解の可能性や問題解決の方法について教員や学生同士で議論しながら数学的なセンスを磨いていきます。



PICK UP! 2

群論(1)

群とは演算を一つだけ持つ代数系です。足し算のみに注目した場合の整数全体や、図形の対称移動(移動や裏返しでもとの図形と重ね合わせられるような操作)も群をなしますが、他の数学の対象へ作用させることで、それらの性質がよくわかることもあります。群論を極めるとルービックキューブの解析も可能です。



PICK UP! 3

数学講究(7)

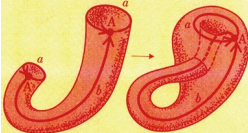
セミナー形式で専門書の輪読を行い、卒業研究を念頭に自ら数学を学ぶ力を養います。教員志望クラスでは、1年次の演習問題を題材に、数学の解説だけでなく、数学を教えることや授業の仕方についても学び、1年生の演習補助や黒板による問題解説を実際に行うことで授業体験をします。



PICK UP! 4

幾何学(1)

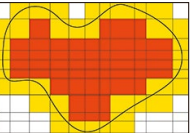
位相空間に複体の構造を定め、その複体のホモロジー群やオイラー標数などの位相不変量を計算します。図は「クラインの壺」の絵ですが、そのホモロジー群の計算のために完全系列という代数的手段を導入し、クラインの壺を含めさまざまな閉曲面のホモロジーを計算し、同相分類を行います。



PICK UP! 5

実解析学(1)

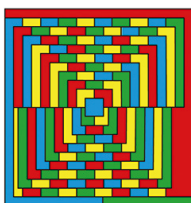
面積とは何か、いかに測るべきか、というのは、人類が数学と出合ったときからの問題です。私たちは小学校での図形の面積公式から高校や大学初年級の積分まで、面積に関する種々の数学を学びますが、厳密な数理解論のためには不十分です。本科目では面積の一般化といえる「測度」について学びます。これは実解析学(2)の「ルベーグ積分」の理論の基礎となります。



PICK UP! 6

応用数学(1)

離散数学の一分野であるグラフ理論について取り扱います。グラフ理論におけるグラフとは、点の集合とそれらの点を結ぶ線の集合からなるもので、分子構造や道路網や人間関係などを抽象化したものです。そのため、グラフ理論は数学の分野にとどまらず自然科学や社会科学などの分野にも幅広く応用できます。



Topics

所属や年齢の違いを越えた「数学コンテスト」



数学コンテストは、近畿大学理工学部で毎年11月に開催される「問題を考える楽しみと解けた瞬間の喜び」を広く味わってもらうための公開イベントです。数学コース在学学生、卒業生はもちろん、全国から中高生、大学生、大学院生、数学教員、一般の数学愛好者までもが参加し、数学コース教員渾身の問題に5時間かけて挑みます。中には熟手の方や国際数学オリンピックメダリストの参加もあって、毎回このような幅広い参加者層による無差別級の数学バトルが繰り広げられています。答案提出後には出題者による数学的背景にも触れた解説があり、数学三昧の一日を過ごせる趣向になっています。

研究室紹介

位相幾何学研究室



4次元多様体に現れる
不思議な現象を中心に研究

佐久間 一浩 教授

この分野は、別名「ゴム膜の幾何学」ともいわれ、長さや大きさは無視し図形のつながりに注目して研究しています。3次元と4次元では5次元以上の世界にはない不思議な現象に出合えます。

群論研究室



圏論的な考察により
従来の枠組みでは
想像できなかった視点を

小田 文仁 教授

有限群とその表現の問題を、圏論的手法を用いて考察しています。群作用を持つ単体的複体、半順序集合、加群等を研究しています。

計算代数解析学研究室

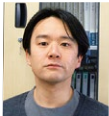


留数を中心として、
複素関数の不変量に関する
計算法を研究

中村 弥生 准教授

計算代数解析の手法を用いて、留数やb-関数の研究をしています。特に、孤立特異点の場合に関して、D-加群理論に基づいた計算法を研究しています。

特殊関数研究室



関数を学ぶことで、
科学の無限の可能性を
体感できる

鈴木 貴雄 准教授

複素領域上の微分方程式、およびその解として定義される特殊関数について研究しています。特殊関数は純粋数学および応用数学のさまざまな分野とつながりのある、とても魅力的な研究対象です。

結び目理論研究室



DNAに関する研究にも
応用される近年高い注目を
浴びる理論

鄭 仁大 講師

結び目理論、および低次元(3, 4次元)トポロジーを研究しています。結び目を数学的に調べるためには、多くの場合結び目の不変量を用いますが、不変量の代数的な性質と結び目の幾何的な性質の関係に興味を持って研究しています。

可積分系研究室



代数解析の方法によって
可積分系の理論と
応用を追求

高崎 金久 教授

数理物理の「解ける模型」である可積分系を代数解析の立場から研究しています。可積分系は、解けるからくりの精妙さに加えて、数学のさまざまな分野と関連する点でも興味深い対象です。

組合せ数学研究室



有限群とその周囲について

浅井 恒信 准教授

有限群論およびその表現論、コホモロジー代数、群の作用する組合せ構造の研究をしています。特に、有限群にかかわる合同式に興味を持って取り組んでいます。

超局所解析研究室



構成可能関数の
ラドン変換の研究

松井 優 准教授

微分方程式の研究から生まれた代数解析学が専門です。組合せ論的手法や超局所解析の手法を用いて、構成可能関数のラドン変換の反転公式や像の挙動を研究しています。

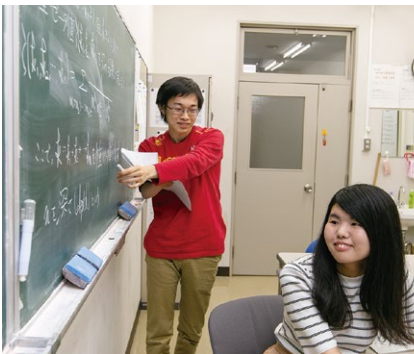
数論研究室



多重ゼータ関数の
数論的研究

井原 健太郎 准教授

さまざまなゼータ関数の多重化について研究しています。多重のゼータ関数の値はもとのゼータ関数の値よりも豊かな性質を持ち、その値たちが張る空間の美しい代数構造に興味を持って研究しています。



多様体研究室



3次元トポロジーを用いて
さまざまな空間図形を
探究する

池田 徹 教授

3次元多様体は任意の点の周囲に3次元座標系を描ける空間です。全体の姿を見るのは難しいですが、空間や曲面を切ったり貼ったりして、対称性などの幾何的性質を研究しています。

応用代数学研究室



「面白いものは必ず役に立つ」。
符号理論は基礎科学の
特質を表す

知念 宏司 准教授

情報を正しく伝える仕組みである符号理論は、さまざまな数学的成果を取り入れた充実した理論です。数学理論としての符号理論、それに関する群論、環論など代数学を中心に研究しています。また、暗号につながる解析数論を研究しています。

離散数学研究室



点と線からなる
グラフの構造を解明する

山下 登茂紀 准教授

離散的な構造の多くはグラフとして記述でき、それら扱うグラフ理論は離散数学の大きな研究分野の一つです。なかでも極値グラフ理論と呼ばれるグラフの部分構造と不変量の関係を研究しています。

統計解析研究室



統計量の近似分布を改良し
精度の高い統計解析をめざす

首藤 信通 准教授

正確な確率分布の表現が得られにくい統計量(データの関数)について、近似分布の精度の向上を図る研究や、極限分布への収束速度を改良するような変換を求める研究を行っています。



※研究室は2020年度のもので、2021年度は変更になる場合があります。

卒論テーマ紹介

可積分系研究室

整数分割、格子凸多角形

「整数分割」「格子凸多角形」という2つの題材を取り上げました。どちらも見た目は素朴なものです。非常に奥深い内容と幅広い応用を持っています。卒業論文では、整数分割の数え上げに関する5角数定理や、内点を1個だけ持つ格子凸多角形の分類定理を目標にしました。

応用代数学研究室

暗号と整数論

整数論が応用されている技術に暗号があります。これは第三者に知られないよう情報を伝えるための技術で、インターネット、高速道路のETCシステムなど、いろいろな場面で用いられています。卒業研究では、前半で整数論の基礎と代表的な暗号の原理を学び、後半ではより進んだ理論として2次体の整数論を研究しました。

特殊関数研究室

分割数と特殊関数

ある自然数を自然数の和として表す方法は何通りあるかという「分割数」の問題は、これを解くための重要な道具である母関数を媒介として特殊関数と深くつながっています。卒業研究では、まずq二項定理やロジャース・ラマヌジャン恒等式といった基本的な式について学び、次にそれらのさまざまなバリエーションについて研究しました。

多様体研究室

多様体の幾何とその周辺

「多様体」という概念を通して、トポロジーでは曲面や結び目などのさまざまな図形を扱うことができます。卒業研究では、多様体論に関連する話題の中から研究テーマを選び、結び目の不変量、平面グラフの連結性、線画の立体復元、ハイブレインと呼ばれる図形の貼り合わせ、重心座標による平面幾何を考察しました。

計算代数解析学研究室

特殊関数としての超幾何関数

超幾何関数は、無限遠点を含む3つの特異点を持ち、3つのパラメータを用いて、常微分方程式の解・べき級数展開・積分表示などの形で表現される複素関数です。卒業研究では、それぞれの表現に伴う基本的な性質および扱い方を学んだ上で、特殊関数としての立場に注目して、超幾何関数の満たす関数等式や特殊値について研究しました。

数論研究室

ゼータ関数と素数

リーマンの研究したゼータ関数は、素数の神祕を宿した関数です。気まぐれに見える素数分布の情報や、整数のなす環に単項イデアルかいないことなど、さまざまな数論構造がゼータ関数の性質からわかります。卒研ではゼータ関数を複素関数として導入し、解析接続や関数等式、またゼータ関数の値とベルヌーイ数との関係などを研究しています。

群論研究室

有限群とその表現

群の構造の研究の道具の中に、その表現や指標と呼ばれるものがあります。特に、有限群の指標は既約指標の線形和として一意的に表されることから、その全体に積構造を入れて考察することによりいろいろな定理が証明されてきました。卒業研究では、指標や表現の基本的な定理の証明、基本的な有限群の指標環の乗積表の計算などを行いました。

離散数学研究室

離散構造の解析

離散数学に含まれる分野として、グラフ理論・数え上げ組合せ論・離散幾何・離散確率などがあります。卒業研究では、グラフ理論における最小全域木を得るアルゴリズム・全域木の数え上げに関するケリーの公式・オイラー回路を見つけるためのアルゴリズム・オイラーの多面体公式に関して研究しました。

結び目理論研究室

結び目の数学

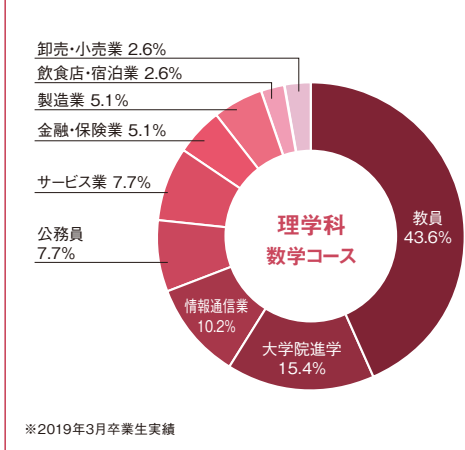
日常生活のいたるところに現れる「結び目」に関連する数学について研究しました。今年度の卒研では、結び目理論を用いたゲームである「領域選択ゲーム」の解法を学び、領域選択ゲームの解の性質について考察しました。また、結び目の多項式不変量や、幾何学的内容と関連して折り紙の数学についても研究しました。

将来の進路

教員を選ぶ人が多数。
民間企業でも多彩な分野で活躍できます

理学科数学コースの特徴の一つに、教員をめざす人や大学院への進学をめざす人の多いことが挙げられます。実際、数学コースの学生の半数以上が、教員、教育関連企業への就職や大学院への進学を果たしています。また、情報通信業や金融・保険業をはじめ、さまざまな分野で多くの卒業生たちが活躍しています。

業種別進路先



主な就職・進学先

教員	大阪府教育委員会／三重県教育委員会／大阪市教育委員会／堺市教育委員会／神戸市教育委員会／枚方市教育委員会／大東市教育委員会／東大阪市教育委員会／柏原市教育委員会／箕面市教育委員会／島本町教育委員会／大阪商業大学高校／浪速学院／日本航空学園／谷岡学園／明徳学園／桃山学院
教育・学習支援業	新教育総合研究会／ウィルウェイ／成学社／東京アカデミー
公務員	高松国税局／警視庁／枚方市役所／姫路市役所／八尾市役所／忠岡町役場
大学院進学	近畿大学大学院／大阪府立大学大学院／北海道大学大学院／大阪教育大学大学院／神戸大学大学院／神戸情報大学院大学
情報通信業	富士通エフサス／東京システムズ／ケーエス・ディー／アトラス情報サービス／富士ソフト／インテック／日本ビジネスデータプロセッシングセンター／クオリカ／システムハウスアイエヌジ／バルテス／ブレインアソシエイツ
卸売・小売業	生活協同組合連合会大学生生活協同組合関西北陸事業連合／アベックス／ディープアイエックス／イオンリテール／エービーシー・マート／万代／ビッグモーター
金融・保険業	三井住友銀行／備後信用組合／近畿産業信用組合／藍澤證券／エヌジェイホールディングス／カーチスホールディングス／大和証券
サービス業	日本エックス線検査／アルトナー／大興／アウトソーシングテクノロジー／マーキュリー／メイテック／SOLIZE Engineering
製造業	ベガスマシン／三菱重工機械システム／伊藤園／ナブラ／カッコン
建設業	アイ工務店／岡田電機

※2017・2018・2019年3月卒業生実績